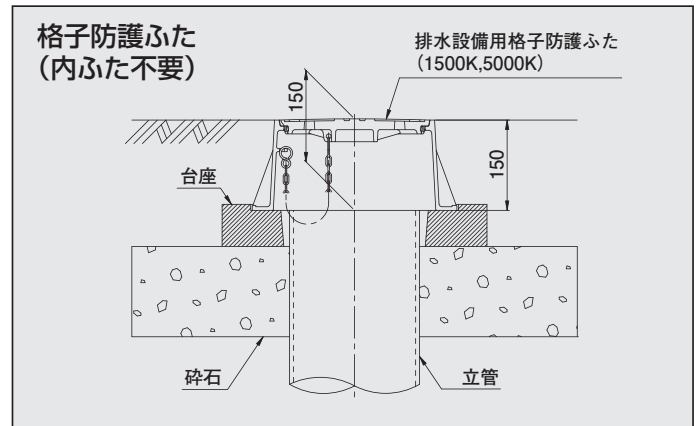
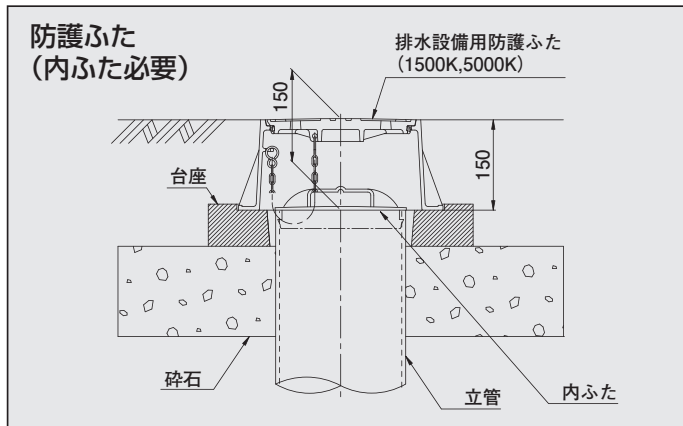


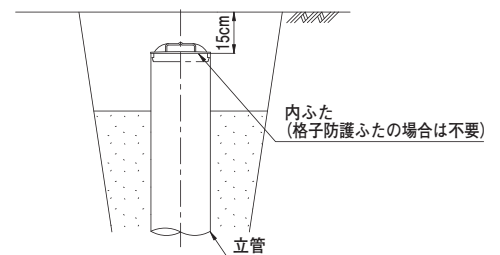
排水設備用防護ふた施工説明書

使用場所 建物内、建物敷地内、公園敷地内



①立管のカット

- 立管は地表面より15cm下になるようにVU管を切管調整します。



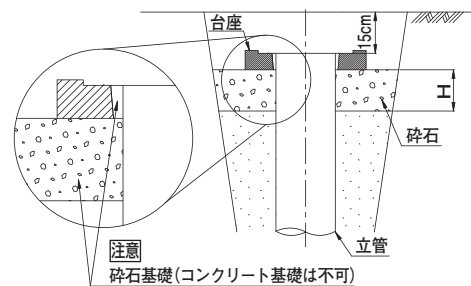
②台座の設置

- 砕石基礎は粒調砕石など締め固めやすい良質な材料を用い十分締め固めてください。

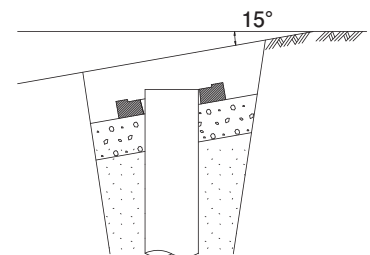
(参考)

種類	砕石基礎の厚さ(H)
1500K	10cm以上
5000K	20cm以上

- 砕石基礎の厚さ(H)が15cm以上の時、1層仕上げでなく2層仕上げをしてください。
- 台座はマス本体の立管と同芯になるように据付けます。

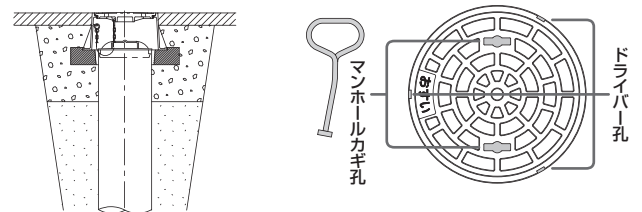
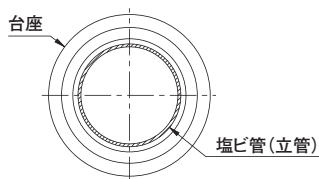


- 台座の据付面は地表面の勾配に合わせて所定の高さに仕上げます。(最大15°の傾斜面にも対応できます。)



③防護ふたの設置

- 防護ふたも台座と同様に立管と同芯になるように据付けます。
- 台座及び防護ふたがずれないように注意し周囲を均等に埋戻し転圧します。また工事終了後周辺の埋戻し土の圧密沈下により防護ふたが突出しないように特に入念に転圧してください。
- ふたは一般的に用いられるマンホールカギおよびマイナスドライバーで開放できます。



注意事項

防護ふたの基礎は砕石基礎とします。コンクリート基礎では地下浸透しないため受枠と内ふたの隙間に雨水が溜まる要因になります。

